

平成27年度 斜里町水道事業の決算状況について



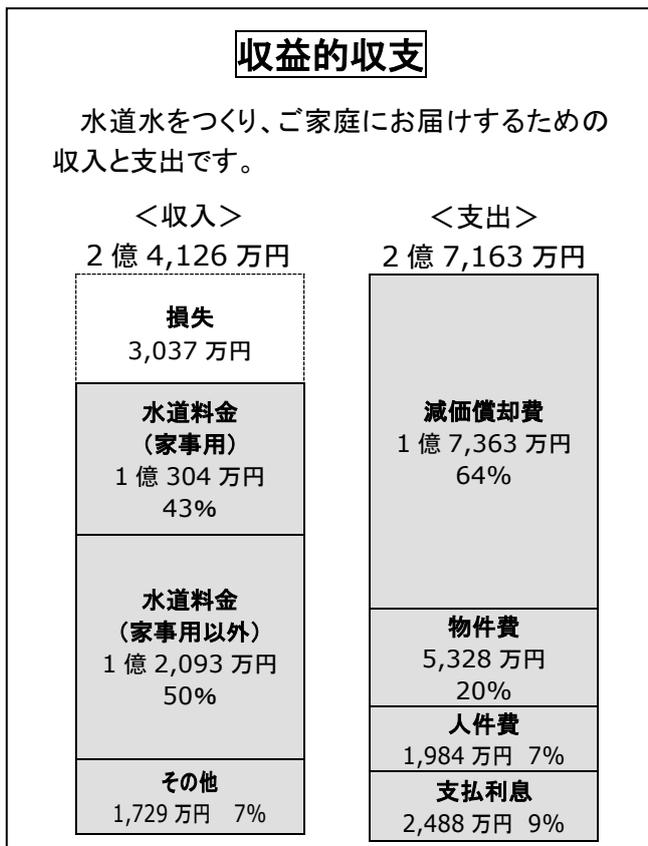
水道事業は、皆さんにお支払い頂いた水道料金をもとに、斜里市街地域・ウトロ地域への水道供給を行っています。

平成27年度の決算状況の概要についてお知らせします。

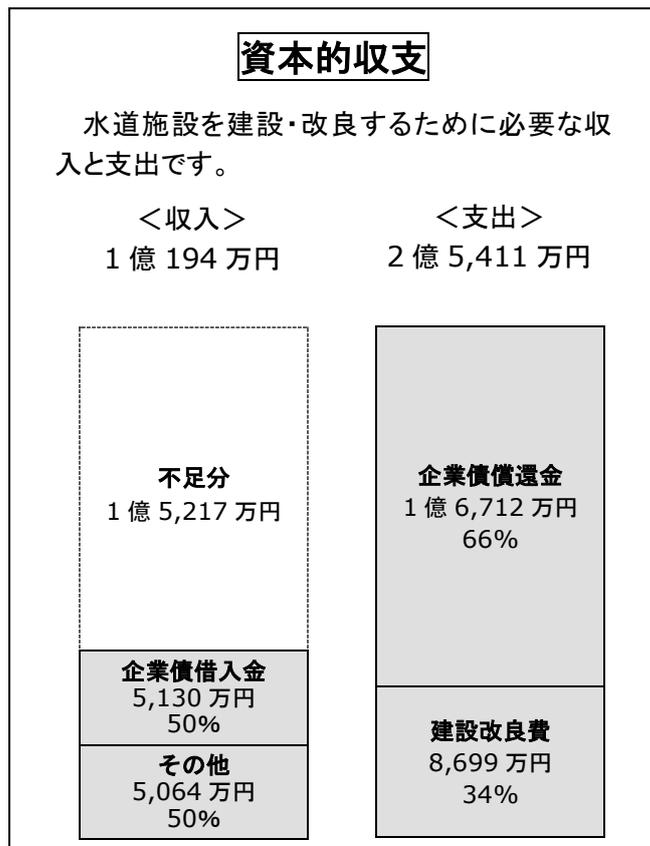
1. 平成27年度の決算状況について

今年度の事業収支の内訳については、以下のとおりです。水道事業会計には、「収益的収支」と「資本的収支」の2種類があります。

今年度の収支結果は、単年度で3,037万円の赤字となりました。



物件費 委託料、修繕費、光熱費、物品購入費など
支払利息 企業債償還金(借金)の利息
減価償却費 経年劣化により減少した資産の価値を補てんする経費。
損失 赤字です。預金を取り崩して充当していません。累積赤字は、2億2,290万円です。



企業債 借金です。返済残高は27億2,145万円です。
建設改良費 老朽管更新工事、配水管新設工事、メーター取替え工事の費用など
不足分 減価償却費などの内部留保資金を充当

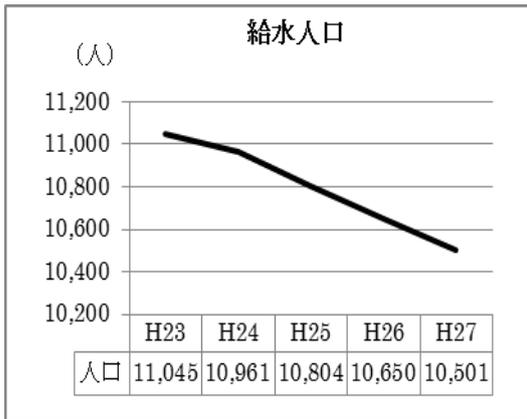
2. 今後の方針

安心・安全な水道水の供給を継続するため、水道事業を次のとおり運営します。

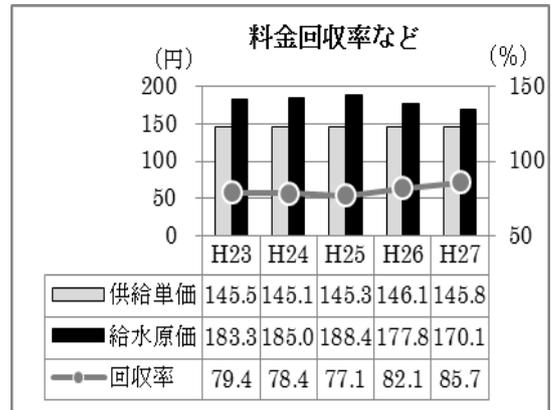
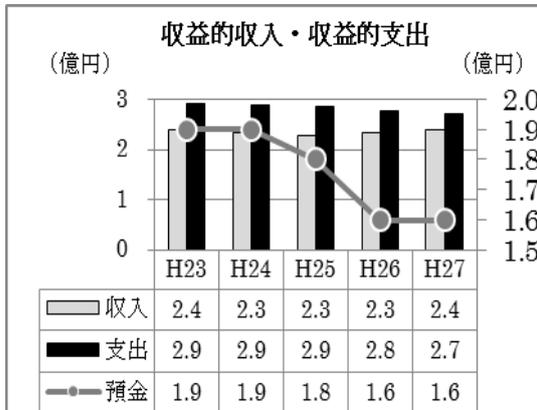
- ①支出の抑制 ~ 支出の見直しを継続し、さらなる経費圧縮を目指します。
- ②滞納対策 ~ 収納率の向上を目指します。
- ③料金の適正化 ~ 決算状況や今後の事業計画を精査し、適正な料金設定を行います。
- ④経営状況の開示 ~ 広報・ホームページを通じ、決算状況を広く周知します。

3. 過去5年間の推移

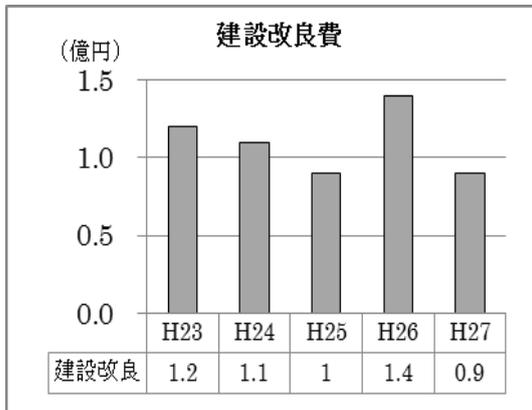
人口減少などにより料金収入が減少傾向です



- 近年の人口減少に伴う利用者数の減少、節水機器の普及、景気回復の遅れなどにより料金収入が減少傾向です。
- 収支状況の悪化により預金が減ってきており、このままでは、資金不足状態に陥る可能性が高まっています。
- 供給単価（販売単価）が給水原価（製造単価）を下回っており、良好とは言えない状態です。



経営状況改善に努めています



- 建設改良費は、老朽管やメータ器の更新など、最低限の工事の実施としています。
- 企業債（借金）の残高は減少しています。
- 料金の滞納額（未収金）は、早期の納付相談や給水停止などを行い、減少傾向です。

